

ふれあいニュースレター

【政府原子力被災者生活支援チームからのお知らせ】

今週の **ほっと・ニュース**

田んぼの水面に
苗の青が映える、
季節になりました。

浪江町、富岡町では、初のお米の実証栽培が行われています。
他の避難指示区域でも、26年産米の試験栽培や実証栽培が行われています。



〈浪江町提供〉



〈浪江町提供〉



〈富岡町提供〉



〈富岡町提供〉



JR常磐線、広野駅～竜田駅間の 運行を6月1日から再開 (5月30日)

JR東日本は、福島第一原子力発電所事故に伴い運転を見合わせていた、JR常磐線広野駅～竜田駅間について、昨年夏から復旧工事を進め、今年5月10日から試運転・訓練運転を行うなど準備を進めていましたが、6月1日に運行を再開しました。

【時刻表（広野駅・竜田駅）】

時刻	広野駅発 →竜田行	竜田駅発 →いわき方面
6	6:11	6:29 (水戸行)
7		
8	8:13	8:33 (水戸行)
9	9:14	9:32 (水戸行)
10		
11	11:15	11:33 (いわき行)
12		
13	13:32	13:49 (いわき行)
14	14:41	15:00 (水戸行)
15		
16	16:41	16:58 (いわき行)
17		
18	18:12	18:29 (いわき行)
19	19:49	
20		20:07 (いわき行)



6月1日の運行再開の様子（竜田駅）

詳しくは、JR東日本 水戸支社のホームページをご覧ください。
<http://www.jrmito.com/top.html>

暮らし関連2



「浪江町に戻って、24時間、皆さんの生命・財産を守ります。」

暮らし関連3



「ふるさとに想いを寄せている方々のために、頑張っています。」

暮らし関連4

避難指示区域における26年産米の作付（試験栽培等の実施の様子）



暮らし関連情報

◆◆双葉消防本部浪江消防署（浪江町）◆◆

「浪江町に戻って、24時間、皆さんの生命・財産を守ります。」

「現在、浪江消防署職員は43名体制で、皆さんの生命・財産を守るべく、日夜を問わず活動しています。署員は本署機能のある川内出張所を基本に、葛尾出張所、浪江臨時庁舎をローテーションしながら勤務しています。浪江臨時庁舎には、今年の4月より4名の署員が24時間、勤務しており、

うち1名救急救命士を配置して、火災救急救助に備えています。」と末永署長は、現在の体制を説明されたところで、同席の横山係長と外が気になる様子。どうしたのか尋ねたところ『風の強い日は、火災が発生すると大規模化する恐れがあるので、我々署員は敏感になります。』とのこと。

「災害発生に備えて、浪江町役場、警察署等とも連携しながら、地域の防災対策を進めています。発生を未然に防ぐことが大切です。皆さんも町にお戻りの際、火の取扱いには注意してくださいね。」と話されました。

「町内に戻り、現場に急行する時間を大幅に短縮できるようになりました。また、巡回の頻度や



常に出動できる体制を整えています。



大規模災害を想定した訓練を実施して、万が一に備えます。



浪江町に戻れて、ホッとしました。これからも、署員一同、皆さんと寄り添って活動していきたいと思えます。

双葉地方広域市町村圏組合
浪江消防署長 末永 孝二さん

時間を増やすこともできました。皆さんを見かけた時は、こちらから積極的に話しかけています。

皆さんから声をかけていただくことも増えました。署員一同は、皆さんからの応援を励みに、これからも防災活動に勤めていきます。」と末永署長は、意気込みを語られました。



定期的ながれき内の温度を計り、災害を未然に防ぎます。



浪江臨時庁舎には、4名の署員が勤務しています。



今年4月「サンシャイン浪江」に臨時庁舎を開所しました。

◆◆◆ 復興に向けた事業者からのメッセージ ◆◆◆

今年4月からサンシャイン浪江の臨時庁舎で、24時間、4人体制で勤務しています。

町にお戻りの際には、是非、お立寄りいただき、元気な姿を見せてください。



双葉消防本部浪江臨時庁舎

福島県双葉郡浪江町幾世橋芋頭5-2
連絡先：0240-34-7360



暮らし関連情報

◆◆双葉警察署浪江分庁舎（浪江町）◆◆

「ふるさとに想いを寄せている方々のために、頑張っています。」

「現在、浪江分庁舎に配属されている署員21人は、地元を何とかしたいとの気概に溢れた精鋭の集まりになっています。今年4月に町に戻ってから1ヶ月半が経ちましたが、署員は、常に高い意欲を維持しています。」と小野田所長は、署員の熱意を語られました。

「町は今までに経験したことがない状況にあります。そこで『この地域では、通常の対策・対応は通じない。より効率的で効果的な方法を、みんなで知恵を絞って頑張ろう。』との方針を定めて、署員が一丸となって、日々の治安維持活動に取り組んでいます。

避難されている町民の方々を訪ねて、情報提供・収集する活動を始めました。町の広報紙に活動状況等を掲載をさせていただき、発信頻度を上げていくことにも取り組み始めています。

町や消防署などと連携を図って、人と人を繋げ、地域の絆を深めるこ



浪江分庁舎は、急ピッチで補修工事が進められています。



パトカーは、警らに、緊急出動に備えて待機中。



地元に関心を寄せている方々に「生まれ故郷は、良いところ。」と思ってもらえるよう、頑張っていきます。

福島県双葉警察署
浪江分庁舎所長

小野田 晴彦さん(左二人目)
浪江分庁舎の署員の皆さん

とで、事件や事故への抑止力を高めていきたいと考えています。

町中で声をお掛けした際は、応援よろしくお願ひします。」と小野田所長は、絆の大切さを述べられました。



デスクワークも大事な仕事です。



緊急出動に備えて、装備は常に身につけています。



地域を守るため、組織で知恵を絞ります。

◆◆◆ 復興に向けた事業者からのメッセージ ◆◆◆

24時間体制での勤務を行っています。相談ごとなどあったときには、遠慮せずにご連絡ください。

防犯対策の観点からも、即時対応が大切です。

近くにお越しの際には、是非、お立ち寄りください。



双葉警察署浪江分庁舎

福島県双葉郡浪江町大字権現堂上蔵

役目18-1

連絡先：0240-34-2141



暮らし関連情報

避難指示区域における26年産米の作付(試験栽培等の実施の様子)



5/25 川俣町山木屋地区
(避難指示解除準備区域)



5/29 飯館村草野向押地区
(居住制限区域)



5/28 飯館村小宮地区
(居住制限区域)



5/26 葛尾村上葛尾地区
(避難指示解除準備区域)



5/16 浪江町酒田地区
(居住制限区域)



5/14 葛尾村広谷地地区
(避難指示解除準備区域)

<直播>



5/15 富岡町下郡山地区
(避難指示解除準備区域)



6/1 川内村吉ノ田和地区
(避難指示解除準備区域)



5/19 大熊町大川原地区
(居住制限区域)

植物移行
実証ほ場
実施主体: 大熊町

このほかにも各地で26年産米の作付が行われています。



「ふれあいニュースレター」バックナンバーのご案内

過去の「ふれあいニュースレター」につきましては、以下のアドレスよりご覧いただくことが可能です。ぜひご覧ください。
<http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.html>